

東海道狸退治

帝キネ

時代映畫

原作並脚色者 江左卦 香兵衛

監督者 池田千太郎

撮影者 濱田御歌平

左官 助十 中村獅歌

大工 頼兵衛 嵐 寛十郎

寺の住職 齋念 嵐 寛二

狸の化身 松藏 嵐 寛二

村の老人 太兵衛 嵐 寛二

松藏の許嫁 お梅 嵐 寛二

宿屋の女中 お菊 嵐 寛二

老婆 尾崎輝子

旅侍 清島緑三

同 矢倉路三郎

宿の亭主 矢野英二

解説 江後岳翠氏の「美男禍」に次ぐ監督作

品である。

略筋 何時の頃か東海道を京洛さして上り行

く助十、頼兵衛と云ふ二人の呑氣者があつた。

藤澤の宿で頼兵衛は女中お菊と共鳴し飛んだ江

戸見の跡を晒らしつゝも悲しい別れをして大磯

へさ出かけた。折柄の豪雨に見舞はれた二人は

辻堂に逃げ込んだが村の若者松藏とお梅の物語

りか耳にし、お梅の母親を救ふべく狸退治を引

受けたが、何時の間にか狸にたふらかされた二

人は意氣揚々山寺に踏み込み天晴れ狸を退治

し母娘の振舞酒を受けて、氣持になつたもの

、村の人々に突然さやされて、氣が付いて見るさ

、家もなく、二人共片鬢を剃り落されて居るの

であつた。